

五感で自然を楽しもう

夏の小田深山溪谷めぐり

小田深山は国有林の中にあり、四国カルスト県立自然公園の一部に含まれます。四国山地の標高1200～1500メートル級の山々に囲まれた豊かな自然は、多様な生態系の宝庫となっています。

四季折々の景色を楽しめる小田深山溪谷。夏は川に吹く風が心地よく、涼しく過ごせます。今回は、地域おこし協力隊として小田深山の魅力発信に取り組む松下博幸さんの案内で、内子町職員2人が溪谷を散策しました。すてきな夏の風景を写真で紹介します。

地域おこし協力隊の
松下博幸さん ▶





さまざまな自然の姿は
訪れる度に感動がある

地域おこし協力隊
松下 博幸さん＝小田上＝

小田深山溪谷には、訪れてみて初めて気付く魅力がたくさん。季節や時間帯によっても違った感動があります。私はもともと野外活動が好きで何度も通っていますが、訪れるたびに環境が変化して面白いです。予備知識はなくても大丈夫。皆さんそれぞれが小田深山溪谷の「なんだこれ」と思うものを見つけて、楽しんでほしいです。

小田深山溪谷は水温が夏でも14～15℃ほど。水に触れるだけで山深いところに来たなと感じてもらえると思います。木陰が多いので日差しはそれほど気になりません。川に入る場合はタオルの準備を忘れずに。また溪谷では携帯電話の電波が通じないので、ご注意ください(笑)

あき さだぶち
安芸貞渕



龍が住むといわれている場所。石を投げ入れると、龍が怒って雨を降らすという言い伝えがある。

こしきがわら
五色河原



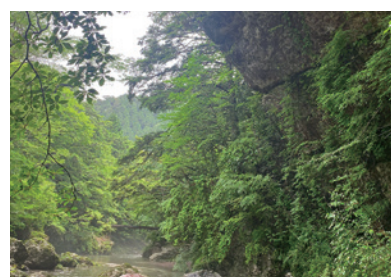
色とりどりの川石があることから名前が付いた。頭上には新緑や紅葉が広がり、訪れる人を自然の色が包む。

まわ
廻り岩



度重なる洪水で岩が少しずつ回され、数百年のうちに一回転して現在の場所に落ち着いたといわれている。

腰のばし岩



体を反らせて見上げないといけないほどの大岩。見上げるたびに背が伸びると伝えられている。

赤石チャート

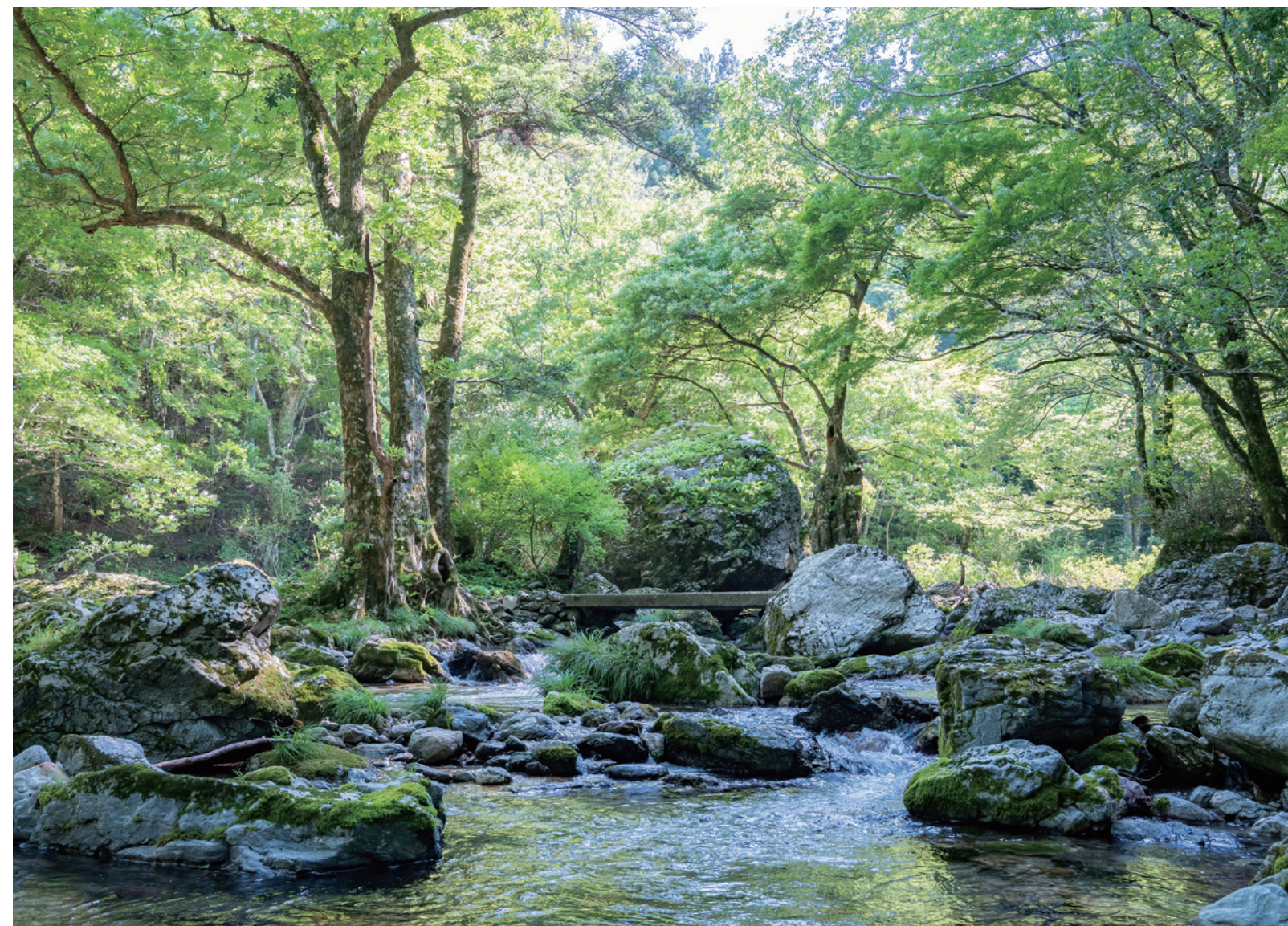


放散虫の殻などが海底で堆積してできた岩石。赤く美しい岩肌はとても硬いのが特徴。

丸太橋



長さ約9m、高さ約3mの丸太橋は欄干がないためスリル満点。おすすめの写真スポットの一つ。

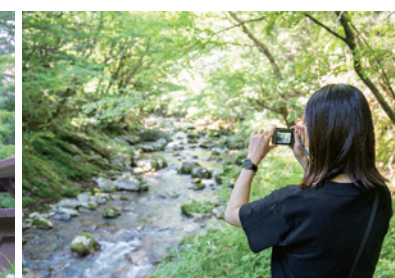
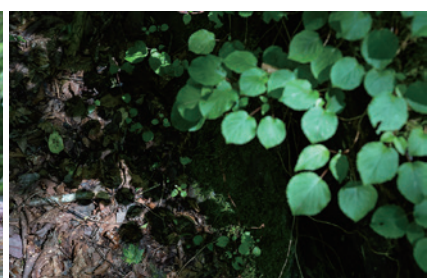


夏でもひんやり、気持ちいい

小田深山溪谷で見つけよう

訪れる季節によってさまざまな景色を見せてくれる小田深山溪谷。自然が作り出す美しい眺めや、季節の草花など、現地でしか見ることができない感動がきっと見つかるはずです。小田深山溪谷の楽しみ方は人それぞれ。あなたの感動スポットを探しに出かけてみませんか。

／僕が案内します／



／みてみて、きれいな石～／
／あっちにもあるよ／



まだまだあります / 溪谷の魅力を味わうおすすめスポット

小田深山キャンプ場

川のせせらぎや野鳥のさえずりを楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごせるキャンプ場です。

●設備 水洗トイレ、水場（4～11月のみ）、駐車場

●利用料

▷キャンプサイト 1区画1,000～3,000円

▷環境整備費 大人300円、小学生150円

【問い合わせ】

ミカタスイッチ株式会社

☎080(2977)1325

小田深山ホームページ▲



隠れ家のような落ち着いた雰囲気でも過ごせるスペースも

アマゴ養魚場

川の水を引いた水槽で、自然に近い環境でアマゴ（アメノウオ）とニジマスを養殖しています。小田深山の川に実際に泳いでいる魚を、キャンプ場などで味わってみませんか。購入を希望する人は、事前にお問い合わせください。

【問い合わせ】

小田深山養魚場（佐野）

☎090(5915)3232

養魚場ホームページ▲



大きな楕円形の模様と赤い斑点が特徴のアマゴ

《小田深山溪谷の夏休みイベント》

涼しさいっぱいの小田深山溪谷で川遊び

安芸貞淵をボートに乗って探検しませんか。きれいな水の中を泳いだり、魚を探したりして自由に川遊びを楽しみましょう。

●開催日 8月10日（土）、11日（日）、12日（月）

※雨天時は中止

●時間 午前10時～午後3時

●場所 小田深山溪谷

●内容 安芸貞淵探検ボート乗り、自由に川遊び・川泳ぎなど

●参加費 1人100円（未就学児は無料）

※当日は現地で受付します。事前の申し込みは不要です。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】

小田支所 小田深山森興係

☎0892(52)3111



上_ボートに乗って溪谷の奥へ進もう。何が見つかるかな 下_澄んだ水の中で魚を探すのも楽しい。上手くいけば捕まえられるかも

ここにしかない魅力が盛りだくさん

小田深山溪谷を遊びつくそう

小田深山溪谷には何度も訪れてみたくなるような魅力がたくさんあります。散策に役立つ情報を一冊にまとめたハンドブックを片手に歩けば、また新しい発見があるかもしれません。ここでは担当職員に聞いた小田深山溪谷の魅力と、その他のおすすめ情報を紹介します。



小田深山溪谷 散策ミニMAP



小田深山溪谷の見どころや、おすすめの散策ルートなどを、イラストと写真で紹介。マップは小田支所や道の駅せせらぎなどで配布している他、小田深山のホームページでも入手できます▶



担当職員インタビュー

標高1,000mを超える山々から流れ出す清流と、巨樹、巨石の風景を楽しめる、四国でも特に自然が濃い場所です。小田深山は内子町の6分の1の面積を占めますが人口はゼロで、森はますます豊かになっています。その自然の中で過ごしていると、私は五感がさらに研ぎ澄まされる感覚になります。皆さんも夏の小田深山に涼みに来ませんか。

小田深山の自然には五感への刺激がいっぱい

私のお気に入りの河原にシートを敷いて寝転んで、ゆつくりと過ごすこと。溪谷には大小たくさんの河原があるので、遊歩道を歩きながら良い場所を見つけてみてください。夏は鮮やかな緑と涼しい風が最高です。木漏れ日の中で風を肌で味わい、水の流れや木々を眺めていると、とても癒やされます。



小田支所 小田深山森興係 高本 匡介さん